

はじめに

このたびはお買い上げいただきありがとうございます。本説明書は MS 方式ステレオマイクロホン CMS-2 の取扱説明書と併せてお読みいただき、そのあとは大切に保存してください。

使用上のご注意

■ 本機の使用範囲

本機は三研マイクロホン社製 MS 方式ステレオマイクロホン CMS-2 から出力される M/S 信号を L/R 信号に変換するためのマトリックスボックスです。指定された組合せ以外の用途で使用された場合の不具合はもとより機器の破壊に対して一切の保証はできません。

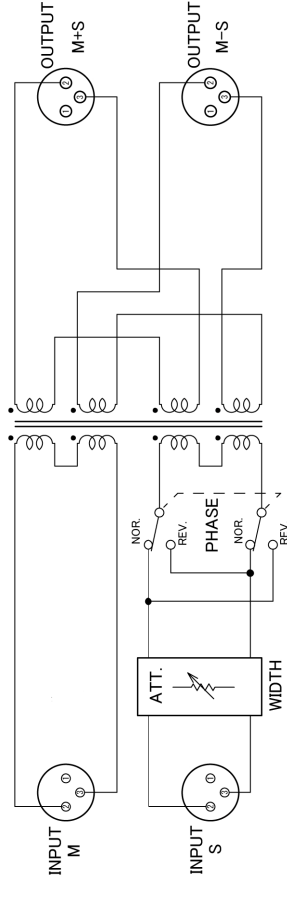
■ 適さない保管場所や使用場所

- ・ 許容動作環境（温度 0℃～40℃、湿度 0%～80%）範囲外のところ。
- ・ ほこりや砂の多いところ
- ・ 水滴が発生しやすいところ
- ・ 振動の激しいところ

■ お手入れ方法

やわらかい布で拭いてください。シンナーやベンジンで拭くと表面塗装や印刷が溶けたりもつたりすることがあります。汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤を使い、あとで乾拭きしてください。

ブロックダイヤグラム

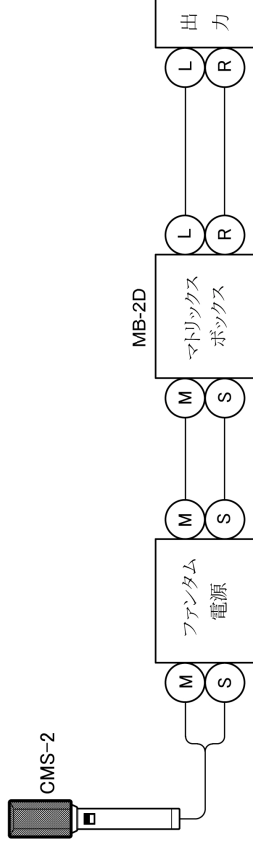


接続のしかた

* ご注意：本機はファンタム電源電圧を通過させることはできないのでファンタム電源は本機よりも CMS-2 に近い側で供給してください。

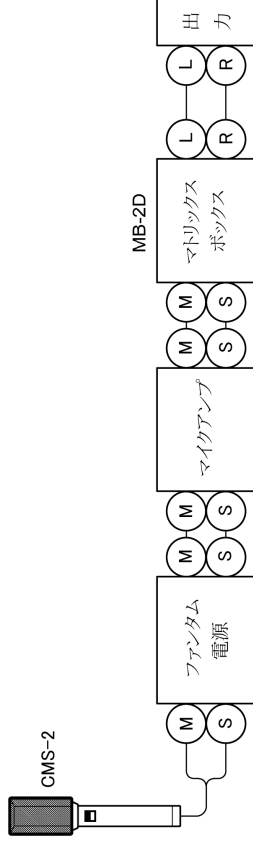
■ 基本的な接続

① CMS-2 出力にファンタム電源を経由して直接接続する場合



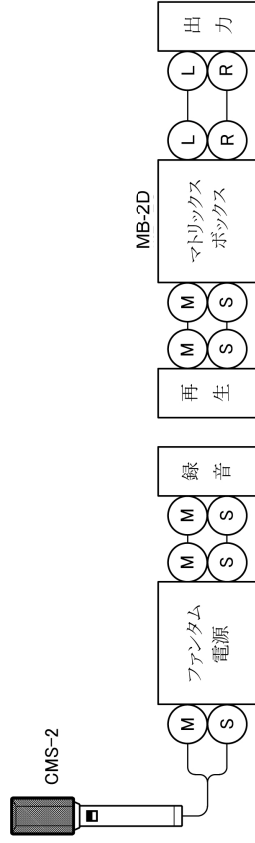
ステレオの拡がり角度調節は MB-2D でおこないます。

② マイクアンプを経由して接続する場合



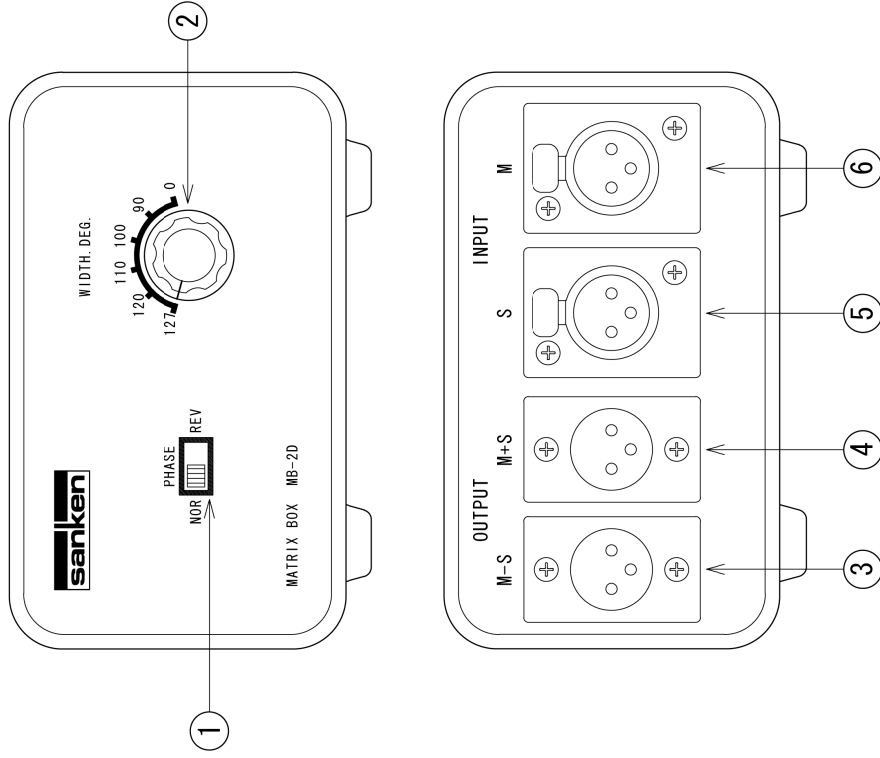
マイクアンプの S 側レベルを操作することにより拡がり角度を調節することができます。このとき MB-2D の拡がり角度調節ツマミは 127° に固定してください。また MB-2D 側で拡がり角度を調節する場合はマイクアンプの S 側レベルは M 側と同じレベルに設定してください。

③ M/S 方式で録音された音源を再生時に L/R に変換する場合



■ 接続ケーブルはステレオマイクロホン CMS-2 の取扱説明書を参照してください。

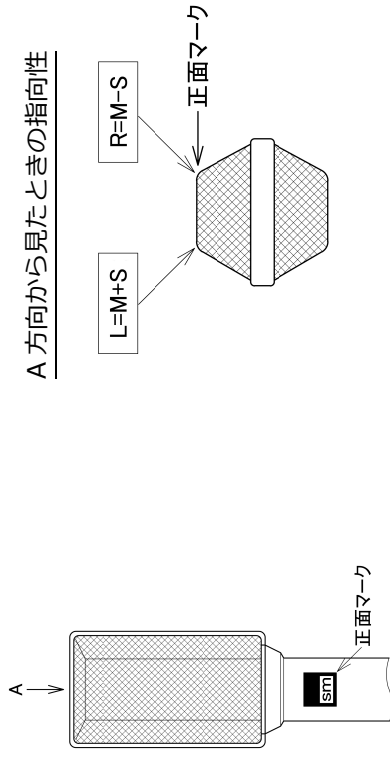
各部の名称とはたらき



| 番号 | 名称 | はたらき |
|----|------------|---|
| 1 | フェーズスイッチ | CMS-2ヘッドを上向きで使用の場合は NOR に、天井から吊るるなど下向きで使用の場合は REV に切換えます。 |
| 2 | 拡がり角度調節ツマミ | ステレオの拡がり角度を調節します。目盛は拡がり角度の目安です。 |
| 3 | M-S 出力 | ステレオ Rch 出力です |
| 4 | M+S 出力 | ステレオ Lch 出力です |
| 5 | S 入力 | CMS-2 の S (Side) 系統出力を接続します |
| 6 | M 入力 | CMS-2 の M (Mid) 系統出力を接続します |

指向性について

CMS-2 の正面マークを基準にすると指向性は A 方向から見たとき図のようになります。



仕様

| | |
|------------|--|
| 巻線比 | 1 : 1 (2 次側センタータップ) |
| 周波数特性 (偏差) | 30Hz~20kHz (±0.2dB) |
| 最大入力 | +10dBu (0dBu = 0.775Vrms) |
| 拡がり角度調節 | 6 段階 (127°,120°,110°,100°,90°,0°) |
| フェーズスイッチ | NOR(ノーマル) , REV(リバース) |
| 入出力コネクタ | XLR-3(F) × 2 (入力) XLR-3(M) × 2 (出力) |
| 外形寸法 | 1 : GND, 2 : Hot, 3 : Cold 120(W) × 75.5(H : ゴム足含む) × 160(D : つまみ含まず)mm |
| 質量 | 1.1kg |

*仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

三研マイクロホン株式会社

〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-8-8

TEL(03)3392-6581 FAX(03)3393-2055

URL : www.sanken-mic.com